

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	地域活動の支援と人材育成	施策No	10-01	部課名	区民生活部区民課
				課長名	岸 内線 2510
関連部課名	区民生活部戸籍住民課、地域文化スポーツ部生涯学習課				
行政評価	分野	V	文化創造都市		
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成		

目的 あらゆる世代の区民があたたかい地域づくりを目指して楽しく集い、区民と行政が一体となって相互交流を促進し、次代の地域活動の担い手となる人材を発掘・育成する。

	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		3年度	4年度	5年度			
指	① 地域の人との交流の充実	2. 59	2. 58	2. 58	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？		
	② 地域に頼れる人がいる実感	2. 58	2. 55	2. 57	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？		
	③						
	④						
標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		3年度	4年度	5年度	6年度 見込み	目標値 (8年度)	
	① 地域の活動や行事に参加している人の割合（％）	30.6	-	33.1	37.0	45.0	世論調査の地域活動・行事への参加状況の内、いつもと時々合計
	② 町会加入率（％）	63	63	64	64	65	加入世帯数／区内世帯数
	③						
	④						
	⑤						

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
行政費用	給与関係費	50,402	52,060	1,658	地方税等	0	0	0
	物件費	8,153	9,340	1,187	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	83,775	105,934	22,159	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	7,501	5,000	▲ 2,501
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,501	5,000	▲ 2,501
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,875	10,059	6,184	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 138,704	▲ 172,393	▲ 33,689
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	146,205	177,393	31,188	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 138,704	▲ 172,393	▲ 33,689
貸借対照表	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 138,704	▲ 172,393	▲ 33,689
貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,106	2,558	452
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2,106	2,558	452
固定資産	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	31,323	38,808	7,485
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	31,323	38,808	7,485
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	33,429	41,366	7,937
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 33,429	▲ 41,366	▲ 7,937
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 33,429	▲ 41,366	▲ 7,937
資産の部合計		0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用の「補助費等」においては地域活動の推進にかかる助成が9割を占めている。4年度は新型コロナの影響によって地域活動の自粛が余儀なくされていたが、5年度は地域活動が本格的に再開し始めたため、助成額もコロナ前の水準に戻りつつある。

○行政収入の「その他」として、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじ助成にかかる歳入が4年度は7,500千円、5年度は5,000千円計上されている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状

○荒川区では、多くの世帯が町会に加入しており、概ね60%の加入率で推移している。一方で、世論調査の結果によると「地域活動・行事に参加していない」割合は54%となっている。
 ○これまで荒川区の地域活動を担ってきた町会等の各種団体では、その中核を担う方々の高齢化が進んでいる。
 ○地域活動に対する住民の理解や関心が薄く、活動の担い手不足・固定化が顕著である。

課題

○荒川区の町会加入率は60%を超えているものの、役員の担い手や町会活動の参加は加入者の一部に限られており、地域全体を巻き込んだ町会運営を促進していく必要がある。
 ○町会等の地域団体への若手加入を促進するとともに、既存メンバーのスキルアップを図るなど、次世代を担う人材の育成が求められる。
 ○地域活動を広く区民に伝えるため、地域活動者が集うイベントやHP、各種SNS等、デジタルを活用した情報発信の充実に取り組む必要がある。

今後の方向性

○様々な機会を通じて地域活動や区政についての情報を区民に提供し、ライフステージに応じて、PTA、ボランティア、町会活動、民生委員などの地域活動に参加できるよう、きっかけづくりを進める。
 ○荒川区の先人たちが築いてきた「地域力」を若い世代につなげるため、町会活動等の地域活動における後継者の発掘・育成のサポートなど、それぞれの団体の実情に応じた支援を行う。
 ○地域活動に携わる担い手の発掘・育成、事務作業の効率化や負担軽減、時代に即した活動方法の見直しなどに資する「町会のデジタル化」の取組みを促進し、多くの住民のかかわりによって支えられる「持続可能な町会・自治会運営」を目指す。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川区の強みである「地域力」を更に強化するためにも、重点的に推進する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
町会・自治会助成費	04-01-04	72,986	75,490	64,655	64,288	重点的に推進	重点的に推進	区が行政サービスを実施する上で、コミュニティ活動の中核を担う町会・自治会の協力は不可欠であり、優先度は極めて高い。
町会連合会助成費	04-01-05	2,806	3,522	1,337	1,088	推進	推進	コミュニティ活動の中核として、行政活動全般について協力を得ており、優先度は高い。
町会・自治会活動助成費 （イベント等助成）	04-01-06	22,900	36,944	8,397	19,396	推進	推進	地域コミュニティの担い手である町会・自治会の振興を図ることは、次代を担う世代にその活動を引き継いでいく上で重要であり、優先度は高い。
町会・自治会会館建設助成費	04-01-07	14,390	26,012	10,275	22,178	推進	推進	町会活動の拠点となる町会事務所の建替えを促進し、コミュニティ活性化に寄与する事業であり、優先度は高い。
町会法人化助成費	04-01-08	2,259	2,728	103	0	推進	推進	法人化することで町会・自治会の財産管理や活動を円滑に進めることができるため、優先度は高い。
町会連合会活動推進費	04-01-09	4,520	5,599	1,091	1,173	推進	推進	区との意見交換や町会長相互の交流が促進されることから、優先度は高い。
地域活動促進費	04-01-10	3,066	4,064	1,890	1,890	推進	推進	地域一体で子どもを中心としたイベントを行うことで区民相互の交流と地域コミュニティの活性化を図るため優先度は高い。
町会役員表彰（地域振興 功労者表彰）	04-01-11	196	1,037	—	484	推進	推進	町会活動において他の模範となる者を表彰することにより、地域活動の振興に資することから優先度は高い。
区営掲示板維持管理費	04-01-13	8,296	8,934	3,103	3,622	継続	継続	区の事業を広く区民に周知し、コミュニティの活性化を図る事業であり、継続して実施する。
住居表示事務費（台帳整備・街区表示）	04-02-08	14,783	13,062	1,076	1,155	継続	継続	法令に基づく事務であり、正確な住居表示を保つため、継続して実施する。
合 計		146,202	177,392	91,927	115,274			

